

第68次教育研究全国集会 in 福岡

日教組の第68次教育研究全国集会在、2月1日(金)～3日(日)の日程で、福岡県で開催され、高教組から11人(本部含め)が参加しました。今次全国集会是、「平和を守り、真実をつらぬく民主教育の確立」をスローガンに、全国各地から3日間でのべ約1万人が参加して行われました。「憲法・子どもの権利条約を生かす教育改革を実現するため、ゆたかな学びを保障するカリキュラムづくりをすすめるよう」のテーマのもと、24分科会でレポートをもとに活発な討議が重ねられました。また、『すべての人に学びを～「夜間中学」のこれまでとこれから』というテーマで、特別分科会が設けられ、夜間中学の運営に携わっている方々のシンポジウムや実践報告が行われました。

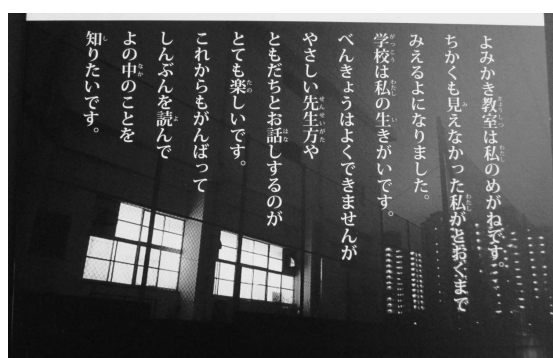


高教組参加者

初日の全体集会においては、朝鮮学校の皆さんによる歌や踊りのオープニングアトラクションに続いて、齋藤一久東京学芸大学准教授による「憲法改正と教育の未来」と題した記念講演が行われました。憲法改悪に反対する運動の中で、憲法に関する勉強会や集会が様々に行われています。齋藤先生も、国家権力の横暴を抑止する憲法の役割の重要性を、改めて強調されました。

この全国集会をもって、今年度の教研活動は一区切りです。昨年3月23日付「日教組教育新聞」(「第68次教育研究活動がめざすもの」)に沿って各支部での教研が行われ、県へ、全国へとつなげてきました。今年度の県教研については、「岩手の高校教育 2019」をもって総括としますので、ぜひお読み下さい。

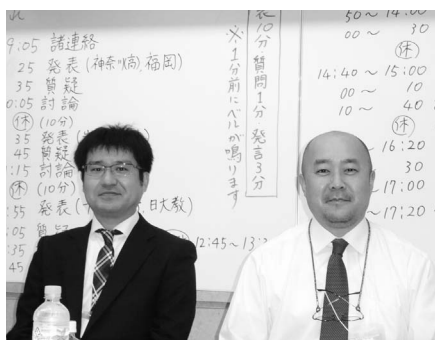
また3月末には「第69次教育研究活動がめざすもの」が日教組から示され、19年度の教研がスタートします。子どもたちのために、そして私たち教職員のために、計画的にとりくんでいきましょう。



夜間中学生の言葉



記念講演



2つの分科会で司会をつとめました

